

池田通り商店街では、歩いて楽しむ商店街をめざして、様々な取組みをされています。商店街会長の丸山さんに、9月下旬に予定している歩道を彩る取組みについて聞きました。

—今回の取組み内容を教えてください。

丸山会長：池田通りは神奈川県で電線の地中化が進められていますが、地中化に伴って設置された地上機器という四角い箱に、逗子ならではの写真をラッピングし、歩行者に楽しんでもらうという取組みです。

—写真はどのようにされたのですか？

丸山会長：どうせやるなら過程も楽しんでと思い、フォトコンテストを開催し、写真を募集しました。119件の応募をいただきました。

(募集期間は平成29年6月1日～7月31日で、現在は募集を終了しています)

—取組みのきっかけは何ですか？

丸山会長：池田通り商店街では、地域の憩いの場になれるよう、広くて歩きやすい歩道の整備、ゆっくり座って街を眺めたくなるベンチの設置などなど、環境の整備をすすめてきました。その中で、地上機器は落書きも多く悩まされてきましたが、他のまちでラッピングをしたところ、落書きもなくなり、かつ歩行者の評判も良いということを知り、取り入れました。

—商店街を通行される方にメッセージを♪

丸山会長：小さなお子様からご高齢の方まで安心して買い物やお散歩ができる、まさにく散歩道のような商店街づくりをめざしています。お散歩がてらでも、ぜひ商店街へお越しください！



ラッピングする地上機器（変圧器）



L♡VE ZUSHI PHOTO CONTEST 池田通りに彩りを

電線が地中化されて、すっきりとした池田通り。
そこに飾る写真を募集します。
逗子の素敵な景観や、まちの歴史。
あなたの写真が、池田通りを彩って、来訪者を楽しませます。

フォトコンテスト チラシ（抜粋）



池田通り商店街の皆さん。地域活性化のために、様々な企画をしかけています。

9月下旬にラッピング予定です。乞うご期待！！

歩行者と自転車のまちづくりニュース

歩行者と自転車を優先するまちづくりに向けて

第11号



発行：歩行者と自転車を優先するまちワークショップ

事務局：逗子市 環境都市部 環境都市課

クルマ中心から公共交通、
自転車、徒歩で・・・という
生活に転換してみましょう。

車をおいて、街へ出よう！！

9月23日（土・祝）カーフリーデー開催

車が少ないから、
車道が走りやすいわ！



自転車が車道を走って
くれるから、
歩道が歩きやすいねえ♪



今日は
お留守番…

ZZZ



日時：9月23日（土・祝）午前10時から午後4時まで

（小雨決行、荒天中止）

場所：JR逗子駅前広場

内容：JR逗子駅周辺交通をテーマとしたアンケートやパネル展示等

（詳細は中のページへ）

主催：逗子市 協力：歩行者と自転車を優先するまちワークショップ

問合せ先：逗子市 環境都市課 046-873-1111（代表） 内線 457

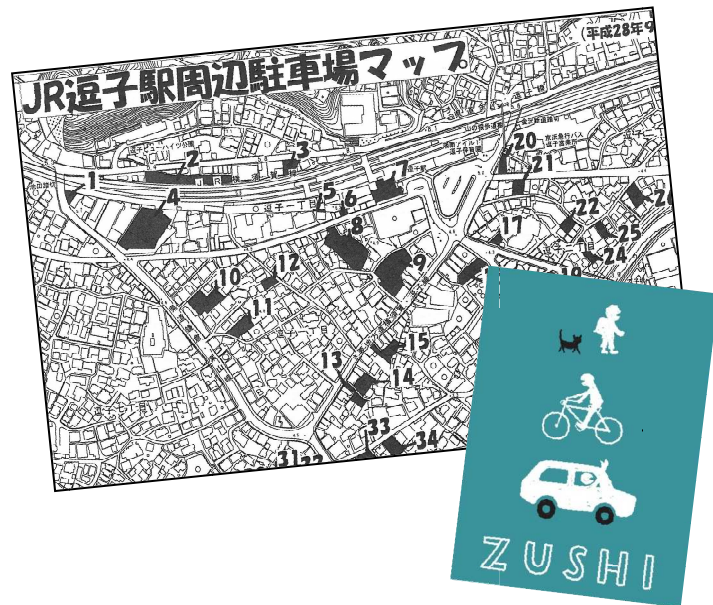
逗子のカーフリーデー

「歩行空間の充実」をめざして！

「道路が狭くて危ない…」「渋滞で公共交通機関が遅れる…」こうした声もありますが、道路の拡幅などのハードの整備は一朝一夕に進むものではありません。けれども、歩行者・自転車・自動車をどのように棲み分け、共存していくかを考え実行することで、もっと歩きやすく、もっと走りやすく、もっと出かけやすくすることはできるはず。

カーフリーデーは、普段車で移動をしているところを、この日だけは車を休ませ、異なる交通手段を用いることでカーフリー「車から解放される」「車に縛られない」ことを実感するためのイベントです。

逗子では、交通規制は行いませんが、JR逗子駅前広場にて以下の取組みをします。



①パネル展示とアンケート

車に頼りすぎない仕組みづくりの検討のきっかけとなるべく実施します。アンケートに協力いただいた方にはオリジナルステッカーをプレゼント！

②駐車場マップの配布

車を利用しなければならない方のために、駅周辺の駐車場マップを配布。道路上の駐停車車両を減らし、自転車は車道を走りやすく、歩行者は歩道を歩きやすくすることをめざします。



※逗子市では、平成 21 年から共にワークショップに取り組む歩行者と自転車のまちを考える会が、市民団体の活動としてカーフリーデーを行ってきました。平成 28 年度からは逗子市の主催として行っています。

(平成 28 年度は雨天中止。写真は歩行者と自転車のまちを考える会主催時のものです)

世界のカーフリーデー

カーフリーデーは、モビリティウィーク(9/16~22)の中心的活動で、1997年にフランス、ラ・ロッシュェルで行われた「車のない日」が発端となっている、車と都市・車と地球環境・車と都市文化を考える1日です。

現在は、2,000都市以上が参加している世界的な社会実験プロジェクトです。

日本でも京都市・福井市・横浜市などが行政・市民団体単位で今年度の参加表明をしています。

カーフリーデーでは毎年テーマが定められており、2017年のテーマは
Clean, shared and intelligent mobility
SHARING GETS YOU FURTHER
~きれいで、共有された、賢い移動~
シェアして、もっと先へ
【共同利用による新しい可能性】です。

EUROPEAN MOBILITY WEEK



カーフリーデーのロゴマーク・イラスト
カーフリーデー・ジャパンHPより



海外の活動の様子
ヨーロッパモビリティウィークHPより

逗子市では、「逗子市歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン」を定め、その中の重点プログラムとして、限られた道路空間の中で、各地域における特色を生かしながら、歩行者・自転車・自動車をどのように棲み分け、共存していくかといった方策を検討し、具体的に実施していきます。

ぜひ、みなさんも、この機会に車の利用方法や逗子の交通について一緒に考えてみませんか？



JR逗子駅周辺地区を対象範囲としています。